

# 学校だより



校訓 『自立貢献』

学校教育目標

『かしこく やさしく たくましく』

めざす生徒像・上里中合言葉

『あたりまえをあたりまえにできる生徒』

【上里中4つの基本】「明るいあいさつ」「きれいな学び舎」「時間を守る」「靴をそろえる」

## 『原点回帰』・『上里中4つの基本』

校長 川田 博樹

本日1学期始業式と入学式を行い、新入生138名を迎え、全校生徒443名と学校教職員46名で令和7年度上里中学校のスタートを切りました。

校長の川田博樹です。昨年度に引き続き母校に奉職できることをうれしく思うとともに、昨年度の反省すべき点を立て直し、上里中学校全生徒の健やかなる成長を願い、教育活動のさらなる発展に努めて参ります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

「原点回帰」：基本に立ち返ること。初心に立ち戻ること。事の起こりに再び忠実になること。

昨年度は、学校全体が落ち着かなくなり、上中生そして保護者のみなさまにご心配をおかけする状況が見られました。このような状況から立ち直っていくにはどうしたらよいか。みんなが楽しく、安心安全な学校を築くために、始業式において以下の4つのことを話しました。

1. 「ケガをしない、させない」走り回る、追いかけてっこをするなど、ケガにつながるような行為は慎もう。
2. 「自分がされて嫌なことは、相手や仲間にもしない」トラブルを回避するためにも自分の言動に責任をもとう。
3. 「授業を大切にす」学校生活で一番長く、大切な時間。進行を妨げるような行為はしない。
4. 『上里中4つの基本』を改めて見直し、学校一丸となって取り組んでいこう。

### 上里中4つの基本

- ・ 明るいあいさつ
- ・ きれいな学び舎
- ・ 時間をまもる
- ・ 靴をそろえる

上里中には「あたりまえのことをあたりまえにできる生徒」という合言葉があります。(今年度は、この言葉を本校の「めざす生徒像」としました。)上記の4つのこと、そして「4つの基本」を「あたりまえにできる」ところまで高めていくことが今年度の目標です。「あたりまえ」とは、意識せずとも行動できる状態。自ら行動できている状態とも言えます。もちろん、教職員も取り組むべきこと。教職員が「率先垂範」し、生徒とともに「師弟同舟」、同じ立場でともに取り組み、考え、実現に向け努力して参ります。そして、本校の学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」の具現化、校訓である『自立貢献』できる生徒の育成につなげて参ります。以下は本日の入学式の校長式辞の一部です。

中学一年生で目指してほしいことは、「それぞれの小学校で経験し、学んできたことをもとに、自ら考え、行動し、学級の仲間や学級の役に立つ人」になることです。

皆さんは、それぞれの小学校で六年間の生活をし、たくさん学び、たくさん経験してきたことでしょう。うれしいこと、たのしいこと、くやしいこと、かなしいこと、それぞれ経験してきたと思います。その経験から学んだことを活かしてほしいのです。そして、皆さんに日々取り組んでいただきたいこと。

それは、次の四つです。「明るいあいさつ」「きれいな学び舎」「時間をまもる」「靴をそろえる」です。これは『上里中の四つの基本』として上中生が日々取り組んでいることです。何だ、そんなことは小学校でもやってきたよ、あたりまえのことじゃないかと思われたことでしょうか。でも、これらを小学校の経験を活かし、本気で取り組んでほしいのです。しかし、あたりまえのことをあたりまえにできることは、簡単でないことは、みなさんも小学校で味わってきたのではないのでしょうか。まずは、この一年間、チャレンジしてください。でも、小学校と違うところは、「自ら考え、行動し、役に立つ」という点です。これが、ポイント。忘れないでください。これからの一年間でみなさんがどれほど成長し、目指す人に近づけるか、楽しみます。

